

大賞に金工の明珍さん

姫路市芸術文化賞7人2団体選出

姫路市が27日、芸術やヤチタンを素材にする文化に貢献した個人・などの挑戦を続け、世帯をたたえる「第36回 界文化遺産・国宝姫路回市芸術文化賞」を発給した。7人と2団体が選ばれた。大賞は、伝統工芸に現代的な感覚を持ち込んだ金工師の第52代明珍宗理さん(71)＝同市伊伝居Ⅱに決まった。3月20日午後6時から、姫路キヤッスルホテル(三左衛門堀西の町)で表彰式を開く。

明珍さんは甲冑師だった。甲冑の技を受け継ぎながら、火ばしを進化させた風鈴の作品で高い評価と人気を得ている。玉鋼

他の受賞者と主な功績は次の通り。(敬称略)

【芸術文化賞】
井上久男(82)＝評論家。『エッセー』、姫路市広煙区。老舗同人誌『姫路文学』の編集主幹として同誌を昨年の「富



吟道賀堂流総本部



圓山記念日本工芸美術館

田中章文(60)＝能楽、同市別所町。観世流能楽師、姫路能楽会代表として伝統芸能継承と後継者育成に尽力。若い世代に向けた講演や美演に努める。

吉田洋三(82)＝版画、同市北条。姫路を拠点に、国内外の美術展で多くの版画作品を発表。おう盛な創作を

赤松省吾(57)＝陶芸、神河町。水や波をモチーフに彫刻した青磁の作品などを発表。毎年、書写の里・美術工芸館に優れた作品を出品している。

丸山記念日本工芸美術館、同市北条。姫路を拠点に、国内外の美術展で多くの版画作品を発表。おう盛な創作を

播磨を中心に県内各地で戦国武将・黒田官兵衛にちなんだ活動に取り組みグループが集う「播磨の国 官兵衛サミット」が3月21日、姫路市山野井町の姫路文学館で開かれる。姫路や宍粟、たつの、伊丹市などから12団体が

参加し、活動を発表する。「播磨の黒田武士顕彰会」の主催。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映に合わせ、各地で盛り上がる活動を結び付けようと企画された。

サミットでは、歴史学者の渡邊大門さんが「播磨時代の黒田官兵衛」と題して講演。各団体が活動内容を発表し、情報交換する。姫路市内からは御着や青

山、妻鹿地区などから5団体が参加する。午後1～4時。無料。定員は先着250人。午後5時からは、会場を灘菊酒造(同市手柄1)に移し、懇親会(参加費3千円)もある。申し込みは電話かファクスで。同顕彰会事務局079・245・4685(ファクスも兼用)

「芸術文化奨励賞」を公開。姫路城「平成」写真。要旨は次の通



明珍宗理さん



井上久男さん



田中章文さん



吉田洋三さん



植岡真弓さん



赤松省吾さん



長田真実さん

姫路

■姫路支社
〒670-0964
姫路市豊沢町78
編集部
TEL...079-281-1125
FAX...079-281-9277
e-mail
himeji@kobe-np.co.jp
営業部
TEL...079-281-1124
業務部
TEL...079-281-1122

■神崎支局
TEL...0790-22-0045
FAX...0790-22-6659

火事や事故の速報、写真、映像提供、身近な話題、生活情報を上記へご連絡ください

「ロード・オブ・ザ・リング」監督作品
ホビット
電に奪われた王国
2/28(土)～ロードショー
3D(吹替)・2D(字幕)
シネ・パレス 山陽座
☎079-222-6701

見どころピックアップ
WJNK
姫路ケーブルテレビ
☎0120-129-130

3月放送 関西ドラマ
くぐる兵衛大河
り黒田官衛と楽し